

寒気に向かつて、

病気の予防

ケアタウンひまわり施設長 田中隆士

まず、上気道感染の予防です。それには体力の維持が大事です。快食、快眠、快便を継続することです。自己防衛としては、暖房の効いている部屋から外出する際には、丹念に重ね着を面倒がらずに行い、帰宅後の脱衣も忘れずに体温の調節をしましょう。また、よく言われていますように、外出から帰宅後は、必ず「嗽と手洗い」の励行です。

次いで、大事なことは、環境の清潔度を確保することです。特に寝室の清掃に気を配り、部屋の湿度を少なくとも50%に維持することです。湿度50%以上では、ウイルスが生存できないといわれています。

さらに、寒くなると、鍋物、焼肉等を供することが増えます。その際には、魚・肉類に充分に火を通してから、戴いてください。

終りに、血圧の高い方は、朝6時から10時までが血圧の高くなる生理的な傾向がありますので、排便のさいは、気をつけましょう。



施設利用者の家族から

高松宏隆 正子

父が逝って、はや半年が過ぎようとしております。私たちの父は平成二十四年の二月から旅立つ直前の二十六年三月まで「牧場の朝」でお世話になりました。

それまでの父は、連れ合いに先立たれた間もなく、あの東日本大震災と平常心を保つには、あまりにも過酷な日々を過ごしておりました。本人はもとより私たち家族にとつても、年老いた父の心情を思いやる気持ちの余裕はなく、先の見えない父の介護に戸惑い苛立つ毎日でした。

そんな時、沢山の方々にお世話になり「牧場の朝」に入所させていただけることになりました。入所前の丁寧な御説明を受け納得はできていたものの、果たして父が新しい環境に馴染んでくれるのか心配でした。しかし入所させていただいてからは、まるで春の到来と競争するかのごとく、父は落ち着きを取り戻し、笑顔も戻ってきたのです。

スタッフの皆様の雪を解かすような温かな専門知識に基づいた、木目細やかなケアのお陰であることが、父を訪問する度に体感致しました。同時に私たち家族にも安らぎが戻ってきました。

「牧場の朝」の周辺の長閑かな自然の移り変わりを父と一緒に楽しむことができただのも今ではかけがえのない思い出になりました。

入居中に入院生活を余儀なくされた時がありました。病院での生活は父にとつて病気のもの以上に辛かったようです。退院して「牧場の朝」に戻り、日に日に元気になり病院で見過ごされた病状まで見

けていただき手当て治療をしていただきました。

精神的な安定がどんな医療技術よりも勝ることを、スタッフの皆様が教えていただきました。実の子でも成し得なかった多くのお心使い、本当に有り難く思っております。父との最期の別れがこんなにも心穏やかに迎えることが出来たのも、父の生活が「牧場の朝」にあったからなのだと思います。

最後にして最大の親孝行ができたかと思っております。今でも「牧場の朝」に行けば、優しいスタッフに囲まれた父に逢えるような気がする昨今です。ありがとうございます。



高松様とご家族

法人本部より

法人本部長代行 和泉光一

この度、社会福祉法人清樹会は新たな旅路についたところであります。本会設立以来、清樹会という樹が成長を遂げる為に、福島市の地にひまわりの種をまき、根を生やし、地域の福祉医療の一端を担い信頼を得て、一つの大きなひまわりの花を咲かせました。後に鏡石町の岩瀬牧場に新しい銀杏の芽を芽吹かせ、現在、岩瀬牧場の立派な銀杏の樹のように成長を成し遂げようとしております。

そして、この度逢瀬川が流れる水と緑の豊かな地、郡山市に逢座という船を浮かべ航行を始めました。逢座はまだ進水したばかりで上手な舵取りができておりませんが、コンパスは明るい未来をしっかりと指しております。法人本部としましては、「ひまわり苑」「ケアタウンひまわり」「牧場の朝」「逢座」が今後益々大きな成長を成し遂げられますよう以下のことに重点をおいて清樹会の基盤強化を図ってまいります。

経営理念の明確化・職員教育体制の確立
人材確保体制の強化・地域に根ざした施設運営
以上の点を各事業所と共有し、強化する為に、施設長会議・事務長会議・担当部会を開催し、各事業所からの意見・情報等の共有を行い、事業所間の繋がりを密にし、一つの大きなひまわりの花が更なる種を増やし、銀杏の樹が実を付け、そして逢座船が逢瀬川を航行し、未来と言う大海原で、大航海出来るよう運営の支援を行って参りたいと存じます。

今後も、ご利用者様・ご入居者様、各地域・関係各位の皆様、従業員の皆様からのご理解とご支援を頂き、福島県の社会福祉に寄与して参ります。



株式会社
ジェー・シー・アイ

本部工場

〒980-1349

宮城県黒川郡大和町松坂平下丁5番地2

TEL 022(344)3222

FAX 022(344)3229